

平成 27 年度病害虫発生予察指導情報

(果樹類・クサギカメムシ)

平成 27 年 12 月 2 日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

- (1) ベニヤ板トラップ調査によると、クサギカメムシの越冬成虫数は、トラップあたり 1.6 頭(前年 : 0.4 頭) で前年より多かった。

表 1 ベニヤ板トラップ調査*によるクサギカメムシの越冬量

調査地点	2014 年	2015 年
鳥取市河原町	0	9.5
鳥取市佐治町	0.5	0
八頭町	0	0
倉吉市関金町	0	0
湯梨浜町	1.0	2.5
北栄町	1.0	0
琴浦町	0	0
大山町	0.5	1.5
南部町	0.5	1.0
平均	0.4	1.6

*表中の数字は、トラップあたりの成虫数を示す。設置数は 2 トラップ/地点

調査方法：9 月下旬にベニヤ板トラップ(2 層) を各地点に設置。地点あたり 2 トラップ、ベニヤ板間の隙間は 5mm または 6mm。
12 月にトラップを回収後、トラップあたりのクサギカメムシ越冬個体数を調査。

変更・改良点

平成 25 年度、調査方法の変更、新：ベニヤ板トラップ(隙間サイズ 3mm) 旧：簡易小屋トラップ
平成 26 年度、隙間サイズ 5mm 及び 6mm を追加
平成 27 年度、隙間サイズ 3mm は捕獲数が少なく、5mm 及び 6mm のデータを記載。次年度以降は 5mm に統一予定

(参考)

表 2 簡易小屋トラップ調査によるクサギカメムシの越冬量*

調査地点	本 年	前 年	平 年**
八頭町 花原	0	1	5.2
北栄町 由良宿	0	0	0.2

*表中の数字は、1 トラップあたりの成虫数を示す。

** 平年は H17 ~ 26 年の平均値。

2. 防除上注意すべき事項

- (1) クサギカメムシは、果樹園内の作業小屋などで越冬しているため、休眠期の防除対策として、3 月までに小屋を清掃し、越冬成虫を必ず捕殺しておく。
- (2) 例年発生が多い園では、4 月以降、定期的には場を見回るなどして、春先の発生程度の把握に努める。